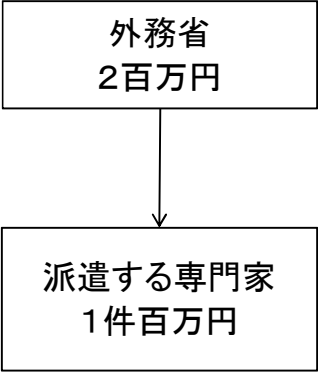


平成23年行政事業レビューシート(外務省)

事業名	緊急事態処理専門家派遣経費	担当部局庁	領事局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度		担当課室	海外邦人安全課	課長 一方井 克哉				
会計区分	一般会計	施策名	Ⅳー2 海外邦人の安全確保に向けた取組					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第9条4項	関係する計画、通知等	-					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	大規模な自然災害や航空機事故などの援護事案発生時に、遺体鑑定やメンタル・ヘルスケアの専門家を現地に派遣し、被災者本人や家族に対するケアを実施せしめるとともに、援護活動の支援に当たらせることにより、被災者本人及び家族等の苦痛を軽減する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	海外で大規模な自然災害や航空機事故等が発生した際、遺体の本人確認のため遺体鑑定が必要とされたり、被災した本人や現地に渡航した家族の精神的なショックを和らげるためのカウンセリング等の対応も必要となる。最近では、開発途上国への渡航者も増えており、開発途上国で邦人が関与する大規模な自然災害や航空機事故等が発生した場合、現地では十分な対応が行われないケースもあり、また、言語や文化等の違いから邦人被災者や被災者家族の要望に十分応えられないことがある。このような事態に備え、本邦の遺体鑑定やメンタル・ヘルスケアの専門家を現地に派遣し、現地での援護活動を支援せしめるとともに、被災者や被災者家族の要望に応える態勢を整える必要がある。							
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	0	0	0	0		
		繰越し等	0	0	0	0		
		計	2	2	2	1	1	
	執行額		0	1	1			
	執行率(%)		0	39.9	67.3			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
	大規模な事件事故等の際における専門家の支援。		成果実績	件	0	1	1	1
			達成度	%	100	100	100	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	事件事故発生後、遺体鑑定が難航することが予測されるケース等に専門家を派遣。		活動実績 (当初見込み)	人	0	1	1	—
					()	(1)		
単位当たりコスト	1, 432, 590(円／派遣件数)		算出根拠					
平成23 (単位:千円) 年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	専門家参加謝礼	312	312					
	文化人等派遣旅費	1,096	1,153					
計	1,408	1,465						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	－	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	派遣にあたっては、可能な限り安価な航空路、航空便を利用するよう務めている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	専門家の派遣が必要とされる大規模な自然災害や航空機事故等が発生した際には、専門家派遣の要否について現地公館とも十分な調整を行うとともに、派遣する専門家についても、その専門性、海外での活動の可否等について十分精査している。海外への渡航者が年々増加していることに伴い、緊急事態に遭遇する邦人数も増加しているため、本件予算の維持は必須である。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	－		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
－			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			

※平成22年度実績を記入



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の 金額が支出されている者について 記載する。費 目と使途の双方 で実情が分かる ように記載)	A. 専門家A			E.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	文化人等派遣 外国旅費	旅費	1			
	諸謝金	謝金	0.2			
	計		1	計		0
	B.			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	C.			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	D.			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	専門家A	邦人援護業務	1	—	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					